

## 1977～78年度R.I.会長の挨拶

わが敬愛するロータリアン諸君：

このロータリー年度には、われわれが受けついでこの豊富な遺産を、夢と力とをもってさらに豊かなものにしてあげようではありませんか。四分の三世紀に近い年月にわたって、深い関心を持ち、感激にあふれる人々は、ロータリーのモットー、**超我の奉仕**の意義の深さを全世界の人々に知らしめたのであります。



人間は誰でも人格の尊厳と価値とを身に備えております。それ故、われわれが人類同胞に対する奉仕の理想に応えるにあたっては、われわれの思想と考え方、計画と活動をより豊かにし、発展拡大させようではありませんか。万人のために健康と、尊厳と、考え方の自由とを確保すべく行動しようではありませんか。

A handwritten signature in cursive script that reads "Jack".

W. ジャック・デービス  
1977～78年度 国際ロータリー会長

1977～78年度R.I.会長のテーマ

全人類を結びつけるために奉仕せよ

(SERVE TO UNITE MANKIND)

わがロータリアン諸君、どうすれば全人類を結びつけるために奉仕することができるでしょうか？ これに対する答は、職業、地域社会、及び全人類社会の各分野において人類同胞に奉仕するために身を献げている全世界のロータリアンが、その言葉と行動によって示すでありましょう。全人類を結びつけることに尽すについて、私は次のような提案をしたいのであります。

即ち、われわれは

- ・ 国際親善と理解を増進するための、ロータリー独特の能力を認識して

これを行使する；人類を分裂させようとする諸問題を排除し、これを結びつける解決法を追求するロータリーの活動に熱意をもって参加する。

・知恵と才覚というものは、これを利用するもの、利用する力を持つものに授けられるということを銘記して、われわれの身に備わっている奉仕する力に生気を与える。

・ロータリーのプログラムに身を以て参加する；われわれの職業分類、及びクラブ・レベルで始まり遂には全世界にまで拡がって多様の中に一致を促進するフェロシップによって、われわれの持つ独特の奉仕を認識する。

・次の手段によってロータリーの全世界に及ぶ影響力と人道的奉仕を拡大する

…もっと多くの適格者を会員に推薦する。

…もっと多くの地域社会にクラブを結成する努力に意を用いる。

…ロータリー財団のプログラムと基金に対して誠心誠意支援をする。

そして

…すべての人と接する時、常にロータリーの原理と友好的精神を身をもって示す。

W. Jack Davis 1977~78年度国際ロータリー会長は、先づ、わが敬愛するロータリアン諸君：と呼びかけ、上述の如き挨拶をされ、次に本ロータリー年度のテーマとして、全人類(Mankind)を結びつけるために(to unite)奉仕せよ(Serve)と掲げられ、ロータリー独特の奉仕の実行方途を詳述され、その最後に、すべての人と接する時、常にロータリーの原理(Rotary's principle)と友好的精神(friendly spirit)とを身をもって示すことだと結んでいる。そこでロータリーの原理として、次の如くロータリーとは(Rotary)と更にロータリーの綱領(The Object of Rotary)とを、念のために記述され、ロータリーの原点の再考を示唆されているのである。